委員会の審査

予算決算常任委員会

9月5日、9月6日開催、委員20名全員出席、付託された事件は、議案7件

◆審査の経過及び結果

議案第1号
市債について、市民協働推進事業、地域生活支援事業、動物管理適正指導事業、水田農業構造改革対策事業、空き店舗活用支援事業、校務支援システム導入事業などに関する質疑があり、賛成多数で原案のとおり認定するものと決した。

議案第2号
不納欠損額について、滞納繰り越し額などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり認定するものと決した。

議案第3号
質疑はなく、賛成全員で原案のとおり認定するものと決した。

議案第4号
ふれあいデイサービス事業、配食サービス事業などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり認定するものと決した。

議案第5号
決算審査意見について、病院事業経営の現状について、病院事業経営の改善状況についてなどに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり認定するものと決した。

議案第6号
子育て世代包括支援センター整備事業、都市公園維持管理費などに関する質疑があり、賛成多数で原案のとおり可決するものと決した。

議案第7号
質疑はなく、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

総務常任委員会

9月7日開催、委員6名出席、付託された事件は、継続審査事件平成29年9月定例会陳情1件

◆審査の経過及び結果

継続審査事件平成29年9月定例会陳情第3号
更に慎重に審査したいとの意見が出され、賛成多数で閉会中の継続審査と決した。

文教福祉常任委員会

9月10日開催、委員7名全員出席、付託された事件は、議案1件

◆審査の経過及び結果

議案第8号
診断書料の変更による収支見込みについて、診断書料の変更に至った検討経過などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

○委員会終了後、匝瑳市学校給食センターを視察した。

産業建設常任委員会

9月11日開催、委員6名全員出席、付託された事件は、継続審査事件平成30年6月定例会陳情1件

◆審査の経過及び結果

継続審査事件平成30年6月定例会陳情第1号
主要農作物種子法廃止の経緯などの意見が出され、賛成少数で本会議において不採択とすべきものと決した。

○委員会終了後、八日市場駅北口広場を視察した。

9月定例会 市政に関する一般質問

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針等をただすものです。

9月定例会では、9月13日、14日に一般質問が行われ、通告順に7名の議員が質問に立ちました。主な質問と答弁を要約し、掲載しました。

なお、質問・答弁の詳細は「匝瑳市議会会議録」をご覧ください。

一般質問の質問項目

都祭 広一 議員
- 当市における、「まち・ひと・しごと創生法」への施策について
- 子育て支援センターについて
- 成田空港との連携について
- ダブルケアへの支援体制について
- 市民ニーズの的確な把握について

日色 昭浩 議員
- 教育環境の整備について
- 危険ブロック塀について
- 災害被災地支援と防災について
- 市職員の障害者雇用について
- JR八日市場駅職員の配置について

林 明敏 議員
- 市民病院について
- 広域ごみ処理について
- 成田空港について
- ふるさと納税について
- 鳥獣被害について
- 農業用施設について

武田 光由 議員
- 平和事業について
- 児童・生徒の安全確保について

宮内 康幸 議員
- 将来人口の推計について
- 高校生のまちづくりへの参加について
- 若者の雇用環境づくりについて
- 交流人口の増加対策について
- 自主防災組織の強化について
- 要支援者の避難誘導について
- 公共施設の安全確認について

田村 明美 議員
- 匝瑳市民病院について
- そうさぬくもりの郷について
- 再生土等の埋立て問題について
- 防災対策について
- 住宅リフォーム助成について
- 交通弱者の移動支援施策について

苅谷 進一 議員
- 市民病院について
- 広域ごみ処理施設について
- 循環バスについて
- 匝瑳市のまちづくりについて

教育

日色昭浩議員(日本共産党)

問 私はこの間、一貫して小・中学校の普通教室へのエアコンの設置を求めてきた。国が教室の最高気温を30度以下から28度以下に変更した。今年の教室の温度調査の結果はどうだったのか。

答 【学校教育課長】7月中で28度を超えた日は、八日市場小学校で11日、吉田小学校で13日、野田小学校で4日であった。9月では、9月7日までの5日間で八日市場小学校が5日、吉田小学校が5日、野田小学校も5日であった。

問 全国的に猛暑が続いている中で、学校での部活動中に熱中症になるおそれがあるとして、文部科学省が必要に応じて夏休みの延長や臨時休校日の設定を検討するよう通知を出している。匝瑳市教育委員会にも届いているか。

答 【学校教育課長】届いている。

問 教育委員会としてどう対応したか。

答 【学校教育課長】市内小・中学校及び幼稚園に周知をした。1年間の指導時数は確保しなければならないので慎重に対処する必要がある。

問 夏休み前、授業参観に行ったお母さんから「教室の暑さはひどい。汗びっしょりで授業を受けている。窓を開けても外は熱風。子どもたちは熱風を扇風機でかき回してもこれは耐えられない」と言っている。エアコン設置に対する教育長の考えを伺う。

答 【教育長】トイレの大規模改修に着工しており、快適な教育環境の整備を図る上でトイレの洋式化は最優先と考えている。今年度、さらに置き型扇風機60台を各学校に追加で配備し暑さ対策をしている。夏季休業中の熱中症等の事故防止のための共通理解事項を作成し、全小・中学校に通知し徹底に努めた。また、エアコンが既に設置されている図書室や多目的室などを有効に活用して授業を行っている。エアコン設置には多額の費用を必要とすることから、国の補助制度や近隣市町の動向を注視しながら検討したい。

問 旭市長は、来年度エアコン設置を決断したそうだ。太田市長のエアコン設置に対する考えを伺う。

答 【市長】旭市の件は、参考にしたい。国の補助制度や、近隣市町の動向を注視しながら検討したい。

総務

武田光由議員（公明党）

問 平和事業の推進について伺う。

答 【市長】戦後から73年が経過し戦争の記憶が徐々に風化していくことが懸念される中、これまでヒロシマ・ナガザキ原爆ポスター展や戦中・戦後の暮らし展、八日市場駅前広場等への被爆クスノキ2世の苗木植樹等の平和事業を実施してきた。また、次の世代へ引き継いでいくための取り組みとして、毎年8月1日に行っている平和の像に千羽鶴をささげるセレモニーにおいて、次世代を担う中学生にも参加いただき、この中で平成28年度から市内3校の生徒による平和都市宣言の朗読のほか、平和に関する作文の発表を行っている。なお、セレモニーの様子や平和作文の内容等については、市のホームページで紹介している。今後も、市民各層の参加、協力をいただきながら、平和都市宣言の趣旨を継承してまいりたい。